

業績目録 (平成 27 年)

教室・部門名 感染病態学教室

(A-a) 英文著書

- 1 Motooka D, Nakamura S, Hagiwara K, Nakaya T. Viral detection by high-throughput sequencing. *Methods Mol Biol.* 2015;1236:125-34

(A-b) 和文著書

- 1 中村昇太、飯田哲也、中屋隆明、堀井俊宏. 感染症研究への次世代シーケンサーの応用」
化学同人、2015 年 3 月

(C-a)英文原著

- 1 Watanabe Y, Arai Y, Daidoji T, Kawashita N, Ibrahim MS, El-Gendy E, Hiramatsu H, Kubota-Kokestu R, Takagi T, Murata T, Takahashi K, Okuno Y, Nakaya T, Suzuki Y, Ikuta K. Characterization of H5N1 Influenza Virus Variants with Hemagglutinin Mutations Isolated from Patients. *mBio.* 2015 Apr 7: 6 (2). e00081-15. (IF=6.975)
- 2 Daidoji T, Watanabe Y, Ibrahim MS, Yasugi M, Maruyama H, Masuda T, Arai F, Ohba T, Honda A, Ikuta K, Nakaya T. Avian Influenza Virus Infection of Immortalized Human Respiratory Epithelial Cells Depends upon a Delicate Balance between Hemagglutinin Acid Stability and Endosomal pH. *J Biol Chem.* 2015 Apr 24;290(17):10627-42 pii: jbc.M114.611327. (IF=4.258)
- 3 Okamoto M, Miyazawa T, Morikawa S, Ono F, Nakamura S, Sato E, Yoshida T, Yoshikawa R, Sakai K, Mizutani T, Nagata N, Takano J, Okabayashi S, Hamano M, Fujimoto K, Nakaya T, Iida T, Horii T, Miyabe-Nishiwaki T, Watanabe A, Kaneko A, Saito A, Matsui A, Hayakawa T, Suzuki J, Akari H, Matsuzawa T, Hirai H. Emergence of infectious malignant thrombocytopenia in Japanese macaques (*Macaca fuscata*) by SRV-4 after transmission to a novel host. *Sci Rep.* 2015 Mar 6;5:8850. (IF=5.228)
- 4 Nakamura S, Horie M, Daidoji T, Honda T, Yasugi M, Kuno A, Komori T, Okuzaki D, Narimatsu H, Nakaya T, Tomonaga K. Influenza A Virus-Induced Expression of a GalNAc Transferase, GALNT3, via MicroRNAs Is Required for Enhanced Viral Replication. *J Virol* 2015 Dec 4 ; 90(4): 1788-17801. (IF=4.606)

(C-d)和文原著

- 1 山田 稔、石田夏樹、堀田欣一、今本栄子、記野秀人、中屋隆明、有菌直樹. 大腸内視鏡検査下に発見・診断された鞭虫症の 5 例と摘出虫体を

用いた遺伝子診断による虫種同定について. *Clinical Parasitology*、26
28-31、2015

- 2 渡邊 洋平、大道寺 智、中屋 隆明、H5N1 鳥インフルエンザウイルス HA
の宿主適応機構、ウイルス、第 65 巻 第 2 号、187-198、2015

(D)学会発表

I) 特別講演、教育講演等

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 中屋 隆明、鳥インフルエンザ-H5N1/H7N9 を中心に-、
第 31 回日本環境感染学会総会、「新興再興感染症の最新情報」のシンポ
ジスト、京都市、2015 年 2 月 19 日～20 日
- 2 Yohei Watanabe, Yasuha Arai, Tomo Daidoji, Madiha S Ibrahim, Emad Elgendy,
Kazuo Takahashi, Yasuo Suzuki, Tatsuo Shioda, Kazuyoshi Ikuta, Takaaki
Nakaya, Genetic diversification of H5N1 avian influenza virus variants during
replication in human airway epithelial cells.
第 63 回日本ウイルス学会学術集会（ワークショップ講演）、福岡、2015
年 11 月

III) 国際学会における一般発表

E 研究助成(競争的研究助成金)

総額 2270 万円

公的助成

代表(総額)・小計 1250 万円

- 1 特別研究員奨励費 平成 25～28 年度
内在化に伴うレトロウイルスの適応と不活化 助成金額 300 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) 平成 27～30 年度
H5N1 鳥インフルエンザウイルス流行地におけるウイルス進化とヒト感
染リスクの評価 助成金額 440 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27～30 年度
鳥インフルエンザウイルスが患者体内で獲得するヒト適応化分子機構の
解明助成金額 140 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成 27～30 年度
細胞エンドソーム内 pH 制御機構に基づいた鳥インフルエンザ感染メカニ

ズムの解明 助成金額 100 万円

- 5 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B） 平成 27～32 年度
中東地域における H5N1 鳥インフルエンザウイルス新型株早期検出とパ
ンデミック阻止 助成金額 270 万円

分担・小計 820 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）平成 23～28 年度
エジプトとタイにおける家畜・家きん由来インフルエンザウイルス性状
変化追跡調査研究 助成金額 30 万円
- 2 農林水産省委託事業 プロジェクト研究 海外からの侵入が危惧される
重要家畜疾病の侵入・まん延の防止技術の開発 平成 25～29 年度
新規ウイルスベクターを用いた鳥インフルエンザワクチンの開発
助成金額 410 万円
- 3 戦略的創造研究推進事業（CREST） 平成 27 年～32 年度
糖鎖機能化グラフェンを用いた二次元生体モデルプラットフォームの創
成 助成金額 380 万円

財団からの助成

代表(総額)・小計 200 万円

- 1 大阪大学微生物病研究所との共同研究 平成 25～27 年度
呼吸器ウイルスにおけるゲノム多様性の生物学的意義
助成金額 200 万円